

# こんなことやってるよ



## 霧ヶ峰自然保護センターがリニューアルしました



写真1. アップデートされたパネル展示

1973年に開設された長野県霧ヶ峰自然保護センターが今年4月28日に約50年ぶりにリニューアルされました。

改装に関わった学芸員の有賀沙織さんのお話です。

「館内の展示スペース(写真1)、交流スペースが新しくなり、外に眺望テラス(写真2)と展望デッキが新たに設けられました。一番やりたかったことは、霧ヶ峰の自然や歴史、保全の取組みを紹介するパネルを最新のものにアップデートすることでした。これにより、霧ヶ峰の自然に関する情報を今後も長く発信できるようになりました。パネルの説明文には仮名をふり、英文を併記し、年齢を問わず外国の方にも利用していただけるようにしました。おすすめは、野生動物を紹介するタッチパネルです。タッチパネルははく製展示(写真3)とつながっており、野生動物の画像に触れるとその鳴き声やCG映像が流れ、野生動物をより身近に感じることができます。」



写真2. 休憩スペースの眺望テラス

「初めて霧ヶ峰を訪れた方や子どもたちにも気軽に霧ヶ峰の自然を知ってもらうために、展示パネルの下に簡単なクイズを手作りしました。また、ノビタキやホオアカ等さまざまな鳥の生態を知ってもらうために、フェルトで鳥のぬいぐるみを手作りし、生息環境も再現しながら展示しました(写真4)。入口には、四季折々の霧ヶ峰の風景を紹介する写真展示がありますが、これはスタッフの小松研一さんが長年撮影されてきたものです。レンゲツツジやニッコウキスゲ以外の自然にも目を向けてほしいとの願いが込められています。」



写真3. 野生動物のはく製展示

展示パネルの作成には当所も関わりました。当所が行っているニホンジカのライトセンサス調査、防鹿柵による草原保全効果や火入れの歴史をさぐる研究の成果も取り込まれています。霧ヶ峰の自然について何か知りたいと思った時に度々訪れては学びたい場所です。ぜひお立ち寄りください！  
(文：浦山 佳恵/自然環境部、



写真4. 鳥類の生態を伝える  
手作りの展示

写真1～3：高野 宏平/自然環境部)

